



～ 元気いっぱい！そり遊び ～

伊佐領小学校で行われた雪遊びイベント。
子どもたちは、雪まみれになりながら元気いっぱい
そり遊び。「おも白い森」のスタッフが作った特設コー
スで、歓声を上げながら、何度も滑り降りていました。

『親と子のいきいきとした笑顔かがやくまち』を目指して



町では、少子化や核家族世帯の増加、就労形態の多様化など子育て家庭を取り巻く環境の変化に対応し、安心して子どもを生み、健やかに育てることができる環境づくりに努めています。

今月は、町の子育て支援の取り組みをご紹介します。

少子化の状況

平成二年に小国町で生まれた子どもの数は百十六人、平成二十年に生まれた子どもの数は六十四人となっており、この十八年で出生数は、四割以上減少しています。

また、本町における出生率は、平成二年の一〇・三に対して、平成二十年には六・九と大きく減少しています。さらに、合計特殊出生率（一人の女性が一生に産む子どもの平均数）においても、平成二年の二・一九に対して、平成十九年には一・四四にまで減少しています。人口減少時代が到来し、こうした傾向は、本町だけでなく、置賜管内、山形県内においても同様となっています。

初婚平均年齢をみると、晩婚化の傾向が進み、本町における初婚平均年齢は、平成二年で女性が二五・三歳に対し、平成二十年には二七・三歳と二歳上がっています。同様に、男性でも、平成十七年度には三〇歳を超え、一層晩婚化が

出生率の推移

	H 2	H 7	H12	H17	H18	H19	H20
小国町	10.3	9.7	7.0	5.5	7.6	4.9	6.9
置賜管内	9.6	8.8	9.2	7.5	7.7	7.4	7.6
山形県	10.0	9.2	8.8	7.7	7.9	7.7	7.8

※出生率…人口千人あたりの出生数の割合
年間出生数 / 10月1日現在の人口 × 1,000

進んできています。晩婚化に伴い、高年齢になると出産を控える傾向があらわれ、少子化の要因につながっているとされています。

このように、結婚や出産に対する価値観の変化や、子育てに対する負担感、経済的な不安などが少子化の大きな原因になっていると考えられます。また、核家族化や、共働き家庭の増加など、子育て環

境の変化もみられます。

次世代育成支援対策推進計画

町では、こうした社会環境の変化に対応し、心豊かでありたいとしたい「小国っ子」を育んでいくため、平成十七年三月に「小国町次世代育成推進支援行動計画」の前期計画を策定し、各種の子育て支援策を展開してきました。

また、平成二十二年三月には、前期計画の課題を整理し、向こう五年間の取り組みを明らかにした後期計画を策定し、子育てしやすい環境の整備に努めていくこととしています。

この計画では、親と子のいきいきとした笑顔がやまを目標とし、次の五つの基本施策に沿って各種事業を展開しています。

① 社会全体における子育て支援の推進

子育て支援センターや、ファミリーサポートセンターの充実など、地域住民が積極的に子育て支援に関わる子育て環境の整備

② 母子保健事業の推進

医療費無料化制度の拡充や、妊娠・出産に係る費用の負担軽減、食育の充実など母子の心身両面にわたる健康確保

③ 子育てを支援する生活環境の整備

子どもが交通事故や犯罪被害にあうことのない社会づくりなど、子どもの心身の安全を確保する対策

④ 仕事と家庭の両立支援

一時保育や中央児童室の充実、父親や事業主の子育てに対する意識改革など、職業生活と家庭生活が両立できる環境づくり

⑤ 要保護児童等へのきめ細やかな対応の推進

障がい児支援策や児童虐待対策の推進

小国町で育つ子どもたちを社会全体で育み、大事にするという心子育て支援の基本に据え、誰もが安心して子ど



子育て支援センターの親子食育教室

もを生み、健やかに育てることができると環境整備と、施策の充実に努めていくこととしています。

子育て支援のお手伝い「子育て支援センター」

本町の子育て支援センターは、子育て家庭への育児支援、地域あげての子育てを支援する基盤づくりを推進するために平成十四年に設置されました。現在は、専任保育士を配置し、各種広場などの事業を実施しながら、子育ての仲間づくりや育児不安に対する相

談等に取り組んでいます。

子育て支援センターでは、○歳から保育園入園前の乳幼児を対象とした、親子のふれあいや親同士の交流の場を提供し、子どもの健康状態のチェックなどを行う「あそびの広場」や「なかよし広場」町の交流施設を活用して自然体験等を通じた親子のふれあいを推進する「こども愛ランド」などを開催しています。

あそびの広場では月に一度、各分野から講師を招いて、講話や健康相談などを行う「子育て講座」も開催しています。

子育て支援センターの梅津里美主任保育士は、「相談では、食事や発育状況に関するものが多く、お母さん方は、それぞれに不安や悩みを抱えているようです。」

参加しているお母さんは、育児のことや食事のことに会話が弾み、リフレッシュしているようです。

子育てに不安や悩みはつきものです。困った時は電話でもいいので、気軽に相談してもらいたいと思っています」



親子、親同士の交流の場である「あそびの広場」

と話してくれました。

子育て支援センターの新たな取り組み

子育て支援センターでは、本年度から、乳幼児とお父さん、おじいちゃんを対象に、「パパとジイジイと遊ぼう」を開催し、育児に対する意識の向上を図るための取り組みを行っています。本年度は五月と十一月に開催し、のべ十三組が参加し、お父さん、おじいちゃんと楽しく遊ぶふれあいの場となっています。

利用者の声



加藤愛さん(小坂町)
すみれちゃん
あうた
桜太くん

毎週楽しく参加しています。

雪が多い小国の冬。小さい子どもを、広々とした場所で安全に遊ばせることが難しくなりますので、こうした機会はとても助かります。また、子育て講座では、豆腐作りや郷土料理教室など、色々な企画があり楽しんでいます。

主人は、今年から始まった「パパとジイジイと遊ぼう」に参加して、色々な遊びを覚えてくるようで、娘と一緒にいきいきと過ごしています。



後藤真希さん(岩井沢)
みなと
湊くん

あそびの広場と、なかよし広場に参加しています。町外から嫁いできたので、知り合いのかたが少なかったのですが、参加することで、育児をしているお母さんがたと仲良くなることができました。お話しすることで子育ての不安や悩みの解消につながっています。また、支援センターの先生がたから、子育てに関する様々な情報を提供してもらえるので、助かっています。

また、冬季（一月と二月）には、毎週月曜日に、「ゆきんこ広場」を開催し、あそびの広場など同様に、親子の交流や、親同士の情報交換の場を提供しています。

地域で子育てを支えあう ファミリーサポートサービス

毎日の子育てでは、どうしても子どもの面倒を見られず、預けられる人がいないときもあります。そのような場合に、育児をお手伝いしてくれるのが、ファミリーサポートサー



パパとジジィと遊ぼう

ビスです。子育てを手伝ってもらいたいから「利用会員」と、子育てに協力できるから「協力会員」により成り立っているサービスで、利用するためには事前に子育て支援センターに登録が必要となります。

町では、本年度、サービスの利用促進を図るため、利用料金の一部助成（上限あり）を行っています。

現在、利用会員が二十一人、協力会員が九人、利用会員と協力会員の双方に登録している両方会員が三人となっております。昨年度より増加しています。

利用者からは、「週三回ほど利用しています。仕事の都合で、帰宅が遅くなることもあり、その間面倒を見てもらっています。子どもは協力会員のかたとすっかり仲良くなり、楽しく過ごしているようです。核家族で共働きなので、こうしたサービスは、とてもありがたいと思っています」との声が聞かれました。



広がる交流の輪、笑顔の輪

社会環境に対応した 子育てしやすい環境づくり

急速な人口減少や少子高齢社会の進行は、産業構造、社会保障、教育、福祉、環境などあらゆる面に影響を及ぼしています。

また、核家族化や地域コミュニティの希薄化は、身近に子育てに関する相談相手や援助者がいないことによる子育ての孤立化、母親の子育てに対する負担感や不安感の増大につながる懸念があります。これを防ぐためには、

子育てにおける仲間づくりや育児不安に対する相談指導などのきめ細やかな支援が必要になってきています。

町では、前期計画期間において、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、認可保育所の保育料の軽減や、子どもたちの医療費の無料化制度などの対策に取り組んできました。

平成二十一年度からは、同一家庭の三人目のお子さんの保育料を無料にするとともに、平成二十二年度からは医療費無料化の対象を中学生までに拡充しています。

社会環境の変化を見極めながら、「親と子のいきいきとした笑顔かがやくまち」を指して、誰もが安心して子どもを生み、健やかに育てられる環境を整えるとともに、多様な保育需要に対応した保育環境の充実や、子育て家庭や地域、行政がそれぞれの役割を果たしながら、子育て家庭を地域全体で支えあう環境の整備に取り組んでいきます。

臨時議会

平成二十三年第一回小国町議会臨時会が、一月二十日に開会されました。一般会計補正予算など二議案が審議され、原案のとおり可決しました。

経済対策に 一億三千七百万円を追加

国が緊急総合経済対策として創設した「地域活性化・きめ細かな交付金」と「地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金」を財源とする事業や、町単独事業としての追加支援経費を含め、一般会計に一億三千七百万円を追加し、地元経済への波及効果が期待できる各種対策を実施することとしました。なお、補正後の一般会計予算総額は、五十八億百二十四万円となりました。

■**公共施設等の改修、修繕**
・老人福祉センター一階ピロティの改修工事について、

社会福祉協議会に経費を支援することとしました。

・おぐに保育園遊戯室、風除室等の修繕を行うこととしたほか、小国小学校内に開設している中央児童室分室について、冷房設備を設置することとしました。

・白沼、叶水、小国、沖庭、北部の各小学校と小国中学校の保健室に冷房設備を設置するほか、小国中学校生徒用トイレの洋式化工事を行うこととしました。

・川入荘、りふれ、梅花皮荘の設備修繕等に要する経費を措置しました。

・町営住宅あけぼの団地、小坂町団地の結露防止策として、各戸に換気扇を設置することとしました。また、あけぼの団地の温水ボイラーの更新を行うこととしました。

■町内中核企業への支援

・コバレントマテリアル株式会社小国事業所に対し、工業用水道事業の利用確保策として、年間契約使用料の

約八割に相当する額を、昨年度に引き続き助成支援することとしました。

・日本重化学工業株式会社小国事業所が、国の助成を受け実施を予定している「低炭素型雇用創出産業立地推進事業」について支援することとしました。この事業では、小国事業所内に施設設備を整備し、レアアース等代替技術の開発を行うもので、町内景気浮揚対策に寄与する事業であるとの判断から、施設整備費の一部を町単独事業として助成することとしました。

基金を設置

国の「地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、「小国町消費者行政・知の地域づくり基金」を設置することとしました。基金の額は一千万円で、平成二十三年度及び平成二十四年度の二カ年にわたり、消費者行政、知の地域づくりの取り組みに活用していくこととしました。

火災予防への決意新たに 小国町消防出初式

小国町消防出初式が、一月九日、総合センターで開催され、消防団員や行政関係者など約百人が参加し、火災予防への決意を新たにしました。

式では、東正明消防団長が「本年も、安全で確実、そして迅速に活動できるようにお願いしたい」と訓示を述べ、団員を激励しました。

また、式終了後には、団員らが町内各地で防火パレードを行い、火災予防を呼びかけました。



雪のなか防火パレードに出発

町内の積雪状況 (H 23. 1.26 現在)

区分	積雪量
小国 (大宮)	202cm
	昨年：100cm
沼沢	285cm
	昨年：180cm
五味沢	285cm
	昨年：160cm
叶水	256cm
	昨年：172cm
玉川	260cm
	昨年：165cm
小玉川	298cm
	昨年：220cm

山形地方気象台小国観測所(大宮地内)によると、十二月二十五日から一月二十六日まで連日の降雪が確認され、一月二十六日には、二〇センチの積雪が観測されています。

また、左の表(町内の積雪状況)のように、町内全域において、昨年同日より、約一メートルほど積雪量が多くなっています。

町では、町民の皆さまの安全安心な暮らしを確保するため、一月二十日、小国町豪雪対策本部(本部長小野精一町長)を設置し、雪崩などの雪害防止、高齢者世帯の安全確認、公共施設などの除雪対策を実施するとともに、随時、雪に関する情報をお知らせしていきます。

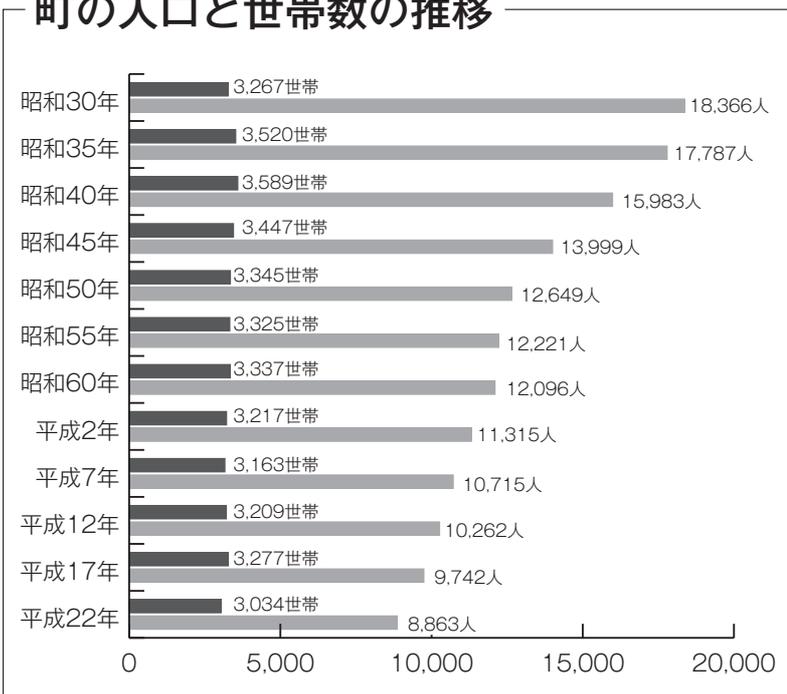
大雪に警戒してください

小国町豪雪対策本部を設置

なっています。

平成22年国勢調査の結果をお知らせします

町の人口と世帯数の推移



平成22年10月1日に実施された「平成22年国勢調査」の人口と世帯数に関する結果(速報値)が山形県から公表されましたので、本町の数値をお知らせします。

前回調査の平成17年と比べると、人口は879人の減(9.0%減)、世帯数は243世帯の減(7.4%)の減となっており、人口、世帯数ともに減少が進んでいます。

国勢調査 人口と世帯数

調査年	区分	人口 (単位:人)	世帯数	対前回調査比	
				人口	世帯数
平成12年		10,262	3,209	-4.2%	1.5%
平成17年		9,742	3,277	-5.1%	2.1%
平成22年		8,863	3,034	-9.0%	-7.4%

なお、この調査結果は、平成22年12月24日に山形県が公表したものであり、今後、総務省統計局から公表される数値と異なる場合があります。

1/19~21

伝統のつる細工を学び、交流 ~つる細工講習会~



編み方を丁寧に指導

第29回つる細工講習会が、1月19日から21日まで、国民宿舎飯豊梅花皮荘で行われ、町内外から45人が参加しました。

これは、小国町の代表的な民芸品である「つる細工」の技能向上と参加者の交流を目的として、町観光協会が主催したものです。

参加者は、伝統技術を持つ町内の愛好団体「つる工芸の会」から、材料に用いるまたたびやあけびなどの特性や、編み方を教わりながら、果物かごや鍋敷きを製作していました。

1/22~23

一生懸命、ボールをつないで

~白い森杯バレーボール交流大会~

第4回白い森杯バレーボール交流大会小学生大会が、1月22日と23日の両日、町民総合体育館で開催され、置賜地域と新潟県下越地域から17チームが参加しました。

この大会は、バレーボールを通じた心身の健全育成や、交流の輪を広げることを目的に、町バレーボール連盟などで組織する実行委員会が主催したものです。

子どもたちは、チームメートや保護者からの声援を受けながら、懸命にボールを追いかけていました。

また、1月29日、30日には中学生大会も行われました。



たくさんの声援のなかで一生懸命にプレー

1/22

金邦夫氏が講演 ~小国山岳会功績表彰記念講演会~



講演会の様子

小国山岳会主催の功績表彰記念講演会が、1月22日、総合センターで開催され、約70人が参加しました。

これは、本年度、小国山岳会が「新小国町誕生50周年記念表彰」を受けたことを記念して行われたもので、小国町（小渡）出身で元警視庁青梅警察署山岳救助副隊長 金 邦夫氏が、「飯豊・朝日から山岳救助隊に」と題して講演を行いました。

金氏は、山岳救助隊の活動を映像で紹介するとともに、近年の山岳遭難の傾向などについて話していました。

1/15~16

マタギ文化に触れ、小正月行事を体験

～マタギの里で伝統文化体験 冬編～



無病息災を願う「さいず焼き」



色とりどりの団子を飾り付け

「マタギの里で伝統文化体験 冬編」が、1月15日と16日の両日、泡の湯温泉三好荘を主会場に開催されました。

マタギ文化が伝わる小玉川地区では、公民館が主体となり、小正月行事や郷土料理などの伝統文化を体験できるイベントを行い、地域の魅力を広く発信する取り組みを展開しています。

3回目の開催となった今回は、東京や新潟、宮城などから家族連れなど12人が参加。さいず焼きや団子さしなどを体験しました。

初日に行われたさいず焼きで参加者は、公民館わきの広場の雪を踏み固め、やぐら作りに挑戦。夜に点火し、竹で挟んだもちを焼いて食べ、無病息災を祈りました。その後は、マタギ料理のウサギ鍋を囲み、地域のかたがたと交流を深めました。

また、翌日は、悪天候だったため、予定していたかんじき歩きは中止となり、団子さしと、昔の集落の様子やマタギ文化などの映像を鑑賞しました。

新潟県から参加したかたからは「こうした経験はなかなかできないもの。子どもたちも、雪遊びや団子刺しを楽しんでいたようです」との声が聞かれました。

この人に聞く

小玉川公民館

館長 舟山

功さん
(小玉川)



小玉川公民館館長の舟山功さんにお話を伺いました。

「小玉川公民館では、年二回、地域の伝統文化を体験できる交流事業を行っています。春には山焼きなどの体験、冬には小正月行事などの体験を中心にプログラムを組み立てて、公民館のスタッフで役割分担をし、取り組んでいます。

特に冬季の催し物は、天候に左右される面もあるので大変ですが、参加者には、小正月行事をはじめ、都市部では見られない雄大な自然や、ウサギ鍋など、この季節ならではの魅力を感じていただきたいと思います。これからも地域で力を合わせ、マタギの里の魅力を発信しながら、活性化に取り組んでいきたいと考えています」と話してくれました。

二月八日(火)～三月十五日(火)

町・県民税の申告相談が始まります

平成二十三年度分の町・県民税申告相談を開催します。申告期限は三月十五日(火)までですので、忘れずに申告してください。

◆町・県民税の申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「平成二十三年一月一日現在で、小国町に居住されているかた」です。なお、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。

- 税務署に確定申告をしたかた
- 年末調整済みの給与収入のほかに収入がないかた
- ※申告書が送付されないかたでも、平成二十二年中に収入のあったかたや年末調整済の給与や年金以外に所得があったかた、各種所得控除を受けたいかたなどは、申告の必要があります。

◆平成二十二年中まったく収入がなかったかたは？

申告書右上に「収入なし」と表示し氏名欄に押印のうえ提出してください。

- 特に、次のようなかたは忘れずに申告してください。
- 所得証明などの証明発行が必要なかた
 - 国民健康保険加入者または加入予定者
 - 後期高齢者保険加入者及びその世帯主
 - 介護保険加入者及びその世帯員
 - 国民年金免除申請をお考えのかた
 - ※障害年金や遺族年金は町・県民税の算定には含まないの

で、申告する収入、所得金額に記載しないようご注意ください。この収入のみときは収入なしの表示でかまいません。

◆申告に必要なもの

- ① 申告書および印鑑
- ② 収入と支出が確認できる書類
給与・公的年金収入：平成二十二年分の源泉徴収票
- 営業・不動産収入：収支内訳計算書、売り上や仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など
- 農業収入：農産物の出荷伝票、仕切書、領収書、借入金利子証明書、新しく購入した農機具などに関する書類、補助金、交付金、補償金等の収入が確認できる書類、取扱い通帳など
- 雑収入・一時所得：支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類
- 譲渡所得：売買契約書や経費の領収書、公共事業による買取の場合は三枚組の収用証明書など
- ③ 所得控除を受ける場合に必

要な各種証明書や領収書、支払金額を証明する書類など

- ④ 通帳など、申告者本人の口座が確認できる書類

◆該当するかたは必ず持参してください

- ① 農林水産省が実施する「戸別所得補償モデル対策」の対象者は、農政局からの
- 戸別所得補償モデル対策における交付決定通知書
- ② 「小国町とも補償事業」の対象者は、水田農業推進協議会からの
- 「小国町とも補償事業」に係る農家拠出金の納入について
- 小国町とも補償事業に係る助成金の支払いについて

◆臨時的な収入はありますか？

勤務先からの給与や年金のほかに土地・建物の売り払い収入または貸し付けや、満期保険料などの収入があったときは、申告が必要です。

町・県民税 申告相談受付け日程

※駐在地区で表示しています。

月 日	相談会場	午前の部		午後の部		
		受付時間	相談対象地区名	受付時間	相談対象地区名	
2月8日	火	役場大会議室	9時～11時	小国町1・2	1時～4時	坂町1・2
9日	水	役場大会議室	9時～11時	緑町1	1時～4時	緑町2
10日	木	役場大会議室	9時～11時	駅前1・2	1時～4時	栄町1・2
14日	月	役場大会議室	9時～11時	本町1・2	1時～4時	幸町2
15日	火	役場大会議室	9時～11時	本町3、幸町1	1時～4時	上岩井沢
16日	水	役場大会議室	9時～11時	坂町3・5	1時～4時	地藏町
17日	木	役場大会議室	9時～11時	町原	1時～4時	東原
18日	金	役場大会議室	9時～11時	あけぼの	1時～4時	松岡
20日	日	役場大会議室	9時～11時	休日相談日	1時～4時	休日相談日
21日	月	役場大会議室	9時～11時	綱木箱口	1時～4時	伊佐領
22日	火	役場大会議室	9時～11時	旭町、小芦	1時～4時	北、西
23日	水	役場大会議室	9時～11時	平林	1時～4時	増岡
24日	木	役場大会議室	9時～11時	種沢	1時～4時	大滝
25日	金	役場大会議室	9時～11時	岩井沢1	1時～4時	岩井沢2
28日	月	役場大会議室	9時～11時	兵庫館1	1時～4時	兵庫館2
3月1日	火	役場大会議室	9時～11時	大宮、宮の台	1時～4時	田沢頭
2日	水	役場大会議室	9時～11時	小渡	1時～4時	館
3日	木	役場大会議室	9時～11時	尻無沢	1時～4時	舟渡
4日	金	役場大会議室	9時～11時	今市	1時～4時	古田
7日	月	梅花皮荘	9時30分～11時	小玉川、泉岡	1時～3時30分	長者原、玉川中里
8日	火	玉川 コミュニティーセンター	9時30分～11時	足野水、中田山崎、 片貝	1時～3時30分	玉川、玉川新田
9日	水	水源の郷交流館	9時30分～11時	上叶水、下叶水	1時～3時30分	新股、河原角、上大 石沢、下大石沢
10日	木	越中里公民館	9時30分～11時	六ヶ字	1時～3時30分	越長
11日	金	白沼小中学校	9時30分～11時	白子沢、桜沢、 間瀬、明沢	1時～3時30分	沼沢1・2
14日	月	足中克雪管理センター	9時30分～11時	足水中里、樽口	1時～3時30分	市野沢、百子沢
15日	火	りふれ	9時30分～11時	三ヶ字、石滝	1時～3時30分	五味沢

★申告に関する相談が必要な方は、できるだけお住まいの地区相談日にお越しくださるようご協力をお願いします。
 なお、お住まいの地区相談日にご都合がつかないときは、他地区の相談日にお越しいただいても差しつかえありませんが、休日相談や最終日など日によって込み合う場合もありますのでご了承ください。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

■あけぼの団地

2DK 1戸(高齢世帯向け)

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますので、お問合せください。

■小坂町勤労者住宅

2K 2戸

▽家賃 三万三千元

■岩井沢勤労者住宅

3DK 3戸

▽家賃 四万二千元

▽対象 小坂町・岩井沢ともに、町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 2月9日(水)

■入居時期 2月下旬以降

■問合せ先

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 4戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた(所得制限あり)

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 2月4日(金)

■入居時期 3月下旬

■問合せ先 すまい情報センター(☎0238-24-2332)へ

健康管理センター

展示作品募集

■展示期間 平成23年4月4日(月)～平成24年3月23日(金)

■展示場所 健康管理センター 入口ロビー

■申込期間

2月1日(火)～25日(金)

■募集作品 趣味で作成した書道・絵画・陶芸・写真等 ※お気軽にご応募ください。

■申込・問合せ先 健康福祉課へ

ご案内

交通事故防止「合同研修会」

安全運転管理事業主会と安全運転管理者協議会では、交通事故防止を目的に、広く町民のかたを対象にして、研修会を開催します。

■日 時 2月15日(火)

午後3時30分～午後5時

■場所 アスモ3F

多目的ホール

■内容 社団法人やまがた被害者支援センター理事 六戸義明氏による講演

■問合せ先 小国地区安全運転管理事業主会事務局(小国警察署内☎62-0110)へ

旧玉川小中学校活用検討委員会「検討結果報告会」

■日 時 2月19日(土)

午後2時～4時

■会場 旧玉川小中学校 2Fホール

■内容

①これまでの取り組みの経過について②今後の地域づくりの方向性と旧校舎の利活用について

■申込方法

2月10日(木)まで、お電話でお申し込みください。

■申込・問合せ先

小国町教育委員会事務局へ

障がい者なんでも相談室

障がいのあるかたの悩み事や困り事の相談を受け付けています。

■受付日時 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時

■相談員 ①法律相談(弁護士 ※事前に予約が必要)②一般相談(社会福祉士)

■相談方法 電話・手紙・FAX・来所(相談料無料)

■申込・問合せ先 山形市大字大森385 山形県身体障害者福祉会館内障がい者社会参加推進センター(☎023-687-5333)へ

催し

山形県議会議員選挙に係る説明会及び立候補届出受付について

平成23年4月10日執行予定の山形県議会議員選挙(西置賜郡選挙区)の説明会及び立候補届出の受付を行います。

■立候補届出予定者及び出納責任者説明会

3月8日(火) 午前10時～

置賜総合支庁2階講堂

■立候補届出受付

4月1日(金)

置賜総合支庁2階講堂

■問合せ先 山形県選挙管理委員会置賜地方事務所(☎0238-26-6019)へ

今月の町長と語る日は2月25日(金)です。お気軽においでください。

皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238(62)2611

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇ほかげ橋夕景 山本 一力
- ◇お別れの音 青山 七恵
- ◇ツリーハウス 角田 光代
- ◇KAGEROU 齋藤 智裕
- ◇永遠の0 百田 尚樹
- ◇夕張のばんじゅう 青田じゅん
- ◇玉子と土といのちと 菅野 芳秀
- ◇地域力再生 清水 修二 他
- ◇「ウツ」とつまる一言をさらりと切り返す会話術
グループ・ニヒト
- ◇一期一会シリーズ
マインドウェイブ

●休館日…毎週月曜日、祝日

☆あそびの広場☆
 日程 2月8日「子育て講座・子育て講演会」、15日、22日、3月1日
 時間 午前10時～11時30分
 場所 健康管理センター
 対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた



☆こども愛ランド☆
 日程 3月12日(土)
 時間 午前9時30分～正午
 場所 健康管理センター
 内容 雑穀料理教室、スライム遊び
 申込期限 3月10日(木)
 問合せ先 子育て支援センターへ

▼2月10日、24日
 おぐに保育園

事業所名	職種	求人数	勤務時間
電興(株)	ガソリンスタンド	1人	7:00～16:00 8:30～17:00 10:30～19:00
(有)蔵王ストア	レジ係(販売員)	1人	8:45～18:00
小国開発(株)	現場監督補助	1人	8:00～17:00
(有)白い森よこね物産品直売所	販売・接客	1人	9:00～18:00
アクサ生命保険(株) 長井営業所	【急募】商工会議所・商工会共済制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15～17:00
(株)コメリ 新潟地区本部	販売員(リージョナル社員)(山形・新潟・長野北信、中信)	1人	9:00～18:00 11:30～20:30
合資会社山佐 佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30～17:30
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(株)横川建設	重車両オペレーター、土木施工管理技士	4人	8:00～17:00
医療法人社団 緑愛会 満天の家	看護師・准看護師(一般・パート)	2人	8:30～17:30 他
(株)ナウエル	ホールアシスタント(ナウエル典礼第二エリア)	1人	8:30～19:00の間の3時間以上
(株)金十商店	事務全般、生鮮作業業務・レジ	4人	9:30～12:30 16:00～20:00
KATEKYO学院 長井校	完全個別指導 家庭教師	10人	17:00～21:00 18:00～22:00 19:00～21:00又は10:00～22:00の間の2時間

小国町役場内に雇用相談室を継続して設置しており、そちらでも職業相談の証明(認定日を除く)をすることができます。特に交通事情の悪い冬期間は役場内の雇用相談室をご利用ください。

求人情報

左の表は、1月25日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へお問い合わせください。

今月の納税 2011.2

2月の税金等の口座振替は、次の日になります。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 2月28日(月) 水道料、国保税(8期)、後期高齢者保険料(8期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合せ先 税務課税政管理室へ

■ 保健カレンダー

■ 問合先 健康福祉課へ

月 日	内 容	受付時間	対象のお子さん(生まれた月)	場 所
3月11日(金)	1歳6カ月児健診	12:30～13:00	H21年7月、8月、9月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
3月18日(金)	1歳児健診	13:00～13:10	H22年3月	
	4カ月児健診	13:10～13:20	H22年11月	

平成23年
2月から

子宮頸がん予防ワクチン、Hibワクチン、 小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成します

■ 対象者 小国町に住所を有する下記のかた

ワクチンの種類	対 象	接種回数と接種スケジュール
子宮頸がん予防ワクチン	中学1年生から 高校1年生の女子	計3回(初回、初回から1カ月後、初回から6カ月後)
Hib (インフルエンザ菌b型) ワクチン	生後2カ月以上 5歳未満の乳幼児	①生後2カ月以上7カ月未満に開始した場合 計4回 初回接種3回(4～8週間の間隔をにおいて) 追加接種1回(3回目接種後おおむね一年において) ②生後7カ月以上12カ月未満に開始した場合 計3回 初回接種2回(4～8週間の間隔をにおいて) 追加接種1回(2回目接種後おおむね一年において) ③生後12カ月(1歳)以上5歳未満に開始した場合 1回
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2カ月以上 5歳未満の乳幼児	①生後2カ月以上7カ月未満に開始した場合 計4回 初回接種3回(27日以上の間隔をにおいて) 追加接種1回(3回目接種後60日以上の間隔をにおいて) ②生後7カ月以上12カ月未満に開始した場合 計3回 初回接種2回(27日以上の間隔をにおいて) 追加接種1回(2回目接種後60日以上の間隔をにおいて) ③生後12カ月(1歳)以上24カ月(2歳)未満に開始した場合 計2回 2回(60日以上の間隔をにおいて) ④2歳以上5歳未満に開始した場合 1回

■ 助成期間 平成23年2月1日～平成23年3月31日(平成23年度も延長して行う予定です)

■ 接種場所 小国町立病院、今医院、田中クリニックのほか、山形県内で接種できる医療機関

※接種には予約が必要です。

■ 接種費用

無料(ただし、西置賜管内以外での医療機関の場合、自己負担が生じることがあります)

■ 接種時に必要な物 母子健康手帳(子宮頸がん予防ワクチン接種の場合は接種済証)、予診票

■ 子宮頸がん予防ワクチンの接種を希望するかたへ

対象となるかたには、詳細について個別にご案内していますので、確認してください。

■ Hib、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を希望するかたへ

医療機関であらかじめワクチンの説明書と予診票をもらってください。西置賜管内以外の医療機関で接種を希望する場合は、下記までご連絡ください。

■ ワクチン接種にあたってのお願い

子宮頸がん、Hib、小児用肺炎球菌のワクチン接種は、任意接種のため努力義務ではありません。保護者のかたが、医療機関から配布される説明書をよく読み、理解、納得したうえでお子さまに接種させることを決めてください。

■ 問合先 健康福祉課へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ● 政策企画室 ☎62-2264 ● 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261 ● 税政管理室 ☎62-2403 ● 会計室 ☎62-2406
- 農林振興室 ☎62-2408 ● 商工観光室 ☎62-2416 ● 建設管理室・上下水道室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432 ● 議会事務局 ☎62-2448

相談

年金相談

- 日時 2月16日(水) 10:30～14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢事務所職員
- 問合せ先 町民課住民窓口担当へ

人権相談

- 日時 2月23日(水) 10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民課住民窓口担当へ

行政相談

- 日時 2月26日(土) 10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 行政相談員 齋藤恒助氏
- 問合せ先 町民課町民生活担当へ

消費者相談

- 日時 2月26日(土) 10:00～15:00
- 場所 役場雇用相談室
- 内容 多重債務に関する相談など
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込が必要です。
- 申込・問合せ先 町民課町民生活担当へ

パートタイム労働個別相談会

- 日時 2月22日(火) 10:30～14:30
- 場所 米沢地方合同庁舎 4階
- 対象 パートタイム労働者、パートタイム就労希望者など
- 内容 パート労働者の労働条件など
- 問合せ先 山形労働局雇用均等室 (☎023-624-8228) へ

東北税理士会長井支部 無料税務相談

- 期日 2月14日(月)～17日(木)
- 時間 10:00～15:00
- 問合せ先 東北税理士会長井支部 (☎88-9159) へ

水道水の節水にご協力ください

現在、降雪や寒気の影響などから水道水源が渇水傾向にあり、水不足が続いております。町の上水道並びに簡易水道をご利用の皆さまは、常にも増した節水を心がけてくださるようお願いいたします。

<節水のポイント>

1. 水を出しっぱなしにしない
2. 容器にためて使う
3. 水を出しすぎない
4. こまめに止めて使う

<凍結に注意>

水道蛇口やボイラーなどが凍結すると、破損漏水の原因となります。水抜きする際は、水抜き(不凍)栓は正しく操作(最後までバルブを回す)し、蛇口は開けておいてください。

操作したバルブが途中で半開きの場合、地下に水道水が流れ、水道使用量が増加しますので、ご注意ください。

- 問合せ先 地域整備課上下水道室へ

山形地方法務局米沢支局の業務の一部変更について

山形地方法務局における商業・法人登記事務について、平成23年3月28日(月)から、山形地方法務局登記部門で取り扱うこととなりますのでお知らせします。

なお、登記事項証明書、印鑑証明書等の交付事務は引き続き米沢支局においても取り扱います。

■ 問合せ先

山形地方法務局登記部門 (☎023-625-1619)、
山形地方法務局米沢支局 (☎0238-22-2148) へ

税務署からのお知らせ

ネットで確定申告！申告書の作成は国税庁ホームページの確定申告書等作成コーナーをご利用ください。

■ 問合せ先・税に関する情報

e-Tax・作成コーナーヘルプデスク (☎0570-015901)、長井税務署 (☎84-1810)
国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国町	荻津	花凛 ^{かりん}	(健美)	弥
兵庫館	齋藤	銀辰 ^{ぎんとし}	(覚佳)	奈子
岩井沢	渡部	桔平 ^{きつぺい}	(智美)	也行
小国町	安部	瞬 ^{しゅん}	(良静)	一子

おくやみ申し上げます。

岩井沢	齋藤	キヨ	(85)
小国小坂町	佐藤	治平	(91)
栄町	佐藤	真弓	(48)
舟渡	佐藤	辰雄	(94)
舟渡	塚原	よしい	(81)
五味沢	佐藤	ゆさ	(79)
市野沢	小島	那夫	(80)
太鼓沢	安部	きさ子	(62)
岩井沢	渡部	フミ子	(85)
東原	鈴木	しつ	(79)
幸町	横山	きみよ	(75)
増岡	佐藤	アキエ	(83)
種沢	伊藤	ヨシ	(86)
西	平田	勝利	(66)
大宮	遠藤	恭一	(78)

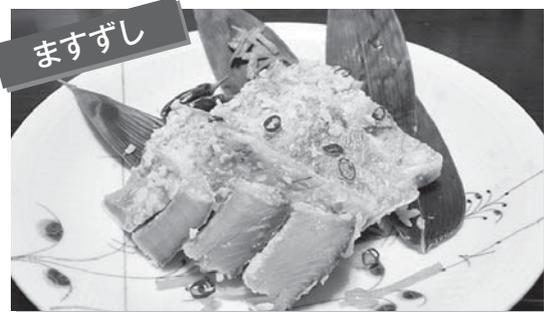
人口のうごき

人口	男	… 4,415人(-4)
	女	… 4,656人(-14)
	計	… 9,071人(-18)
世帯数		3,246世帯(-6)

平成22年12月31日現在

伝えよう！ 広めよう！ おぐにの食文化

シリーズ⑩



材料

塩ます	………半身程度	酢	………少々
米	………3合	焼酎	………適量
笹の葉	………適量		

作り方

- ① 塩ますを適当な大きさに切る。(切り身の場合はそのまま)
- ② ボールに水を張り、酢を少々加え①を入れて身をしめる。
- ③ 容器に笹の葉をしく。
- ④ ご飯を硬めに炊き、水で洗う。
- ⑤ 笹の葉の上に洗ったご飯を敷き詰める。
- ⑥ ご飯の上に塩ますを隙間なく並べ、さらにご飯、笹の葉をかぶせてフタをして重石をおき、焼酎を少々加える。
- ⑦ 徐々に発酵し、約1カ月後に食べごろになる。



伝承者：舟山房子さん(小玉川)

小国の他の地域でも作られているものですが、その地域によって作り方は様々だと思えます。

昔、小玉川地域では、夏に遡上してきたますを獲り、塩漬けにして保管していました。そして、11月中旬から下旬ごろになると、このますを使いますずしを作り、雪に閉ざされる厳しい冬の食糧としていたようです。昔から伝わる食文化や、暮らしの知恵を大切にしていきたいと思えます。

編集後記

表紙で紹介している雪遊びイベントは、幼児と保護者を対象としており、そり遊びのほかにも、綱引きや宝物さがしなど色々なゲームが行われていました。また、会場には、雪の壁を利用した「かまくら」がいくつもありません。スポーツクラブYuiとおも白い森のスタッフが前日から準備していたとのこと。たくさんの方の笑顔、そしてその笑顔を見るためにがんばるスタッフ。寒い冬に心が温かくなりました。(加藤)

No.676
広報おぐに
2011-2-1
編集発行／小国町役場総務企画課 ホームページ <http://www.townofnagasaki.jp> 携帯電話向けサイト <http://www.townofnagasaki.jp/m/index.html>
〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地 TEL0238(62)2111(代) FAX0238(62)5464 印刷／(株)青葉堂印刷